

2023 年 7 月 31日

2023 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 一般社団法人 GreenHand

ホーム名 Milestone

代表者・役職名 氏名 安 道幹

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

子ども達が安心して乗れる自動車(社用車)への買い替え事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

長年、精神保健福祉士として困窮世帯の子ども・若者支援を行ってきた代表者・安が、2020年9月、京都市南区に自立援助ホーム Milestone を開設。5名定員の男子ホームとして、児童相談所から委託措置されてくる児童を受け入れています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

自立援助ホームに入居する児童は、精神疾患や失業、親子関係や不登校など、様々な課題を抱えていることが多く、普段のサポート業務でも、病院や関係機関への付き添い、ケース会議の出席など、職員が社用車を利用する場面が多々あります。また社用車は、公共交通機関を利用せずに、目的地まで送迎できるため、新型コロナウイルスの感染症対策としても有効です。以上のことから、職員が使用できる安全な社用車への買い替えを希望しました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

病院の付き添いなどで入居中の児童を乗せることも多い社用車ですが、これまで使用していた社用車にエンジントラブル等が発生し、運転中に故障するおそれが生じました。子ども達が安心して乗れる新しい社用車への買い替えを実施しました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

新しい社用車に買い替えたことで、職員と児童の安全を確保することができました。職員が余計な不安を感じずに運転することができるため、車内での親密な会話を通じて、職員と児童が1体1の信頼関係を築くための、貴重な時間を増やすことができました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

新しい自動車に買い替えたことで、職員が安心して業務に励むことができるようになりました。運転中の故障という不安がなくなるため、今後は自動車の利用頻度を増やし、これまで以上に関係機関との連携を強めたいです。職員や、同乗する児童の気分も一新されて、会話などもよく弾むと思われます。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

